

**SCOOP!!!!**



注目のSPLエンジン  
プロジェクト2連発!

- ① L28型用チューンドヘッド  
「JMCヘッド」
- ② S20型改 渡辺スペシャル  
「SG20R」

# Nostalgic SPEED

**特集** 今時のインジェクション仕様か王道のキャブ仕様か

## L型チューンドの進化系スタイル

こだわり満載で仕上げたS30Z、ハコスカHTに注目せよ!



レーシングドライバー松田次生  
サニトラを飼う(!?)の巻

- OS技研クラシックカーレース参戦プロジェクト TC16-C1 サニーエクセレント
- 東名パワード: A型エンジン用オイルポンプ/オイルパン
- FUJITSUBO x SA22C Project #03
- ハチマルSPEED: R32 GT-R / AE86レビン/FC3C RX-7
- 360SPEED: ステップバン





## HISTRIX

### クラシカルスポーツのデザインに 現代基準の本格的なシェルを融合

旧車オーナーからの強い要望が誕生のきっかけとなったというHISTRIX。すでに発売から15年以上の歴史を持つ。強度や剛性に優れるスーパーアラミドシェルを使用し、ローバックながら肩までしっかりと張り出し、身体全体を包み込むデザインはモータースポーツ参戦にも十分耐えうる性能を持つ。背中の厚めのクッションやハトメの装着などは旧車シートのイメージを取り入れた演出。性能&ルックスともに満足できる逸品だ。



腰横のホールは4点式シートベルトを通す穴。サイドデザインも装着したときのカッコよさも追求し、何度も手直し。こだわったゆえのプライスは18万9200円。※2021年7月より価格改定



宣伝を一切してこなかったため、その存在を知る人が少なく、当初は売れ行きは芳しくなかったようだ。ただ、現在は口コミと旧車ブームにより認知が広まり、受注数が増えているとのこと。ただし、1969年4月以降の生産車両は競技専用部品(車検非対応)となる。



①背中のクッション部分は熟練職人が中にウレタンを入れて、1個1個を手作業で縫い合わせている。生地はフェイクレザーだが、シボなどは旧車の雰囲気合ったものをチョイス。②座り心地を確保するため、背中とお尻の形状はジータⅢのものを流用。③ハトメも専用工具で丁寧に加工している!



④⑤⑥全体のフォルムやデザインはベースのユーロスターⅡをオマージュしているが、大きく張り出したサイドサポートが異なる。高機能素材プロテインレザーにより、高級ソファの革のような風合いがある。こちらも縦寸が足りず、1969年4月以降の車両は非車検対応。



## EUROSTERⅡ SPORTE

### ノスタルジーなスタイルに 最新のトレンドをミックスした 旧車のニュースタンドモデル

EUROSTERⅡがベースだが、シェル&デザインは専用設計。HISTRIXと異なり、肩のサポートがないため、脇腹で支えるように張り出しを大きくしている。半面、腿のサポートは控えめとすることで乗降性のしやすさに配慮。表皮は高級車の純正インパネなどにも使われるプロテインレザーを採用。吸放湿性が高く、見た目も上質かつ耐久性も優秀。新旧のよさが上手く融合している。



## Nostalgic SPEED Parts Selection

## BRIDE HISTRIX / EUROSTERⅡ SPORTE

## 2

### Parts Selection

TEXT: Nostalgic SPEED  
PHOTO: MOTOSUKE FUJII

BRIDE  
HISTRIX  
EUROSTERⅡ SPORTE

MADE IN JAPANならではの高い技術と繊細な仕立てにこだわるシート専門メーカー「BRIDE」に旧車向けのシートが用意されているのをご存じだろうか? ノスタルジーなデザインもさることながら、最新の安心&安全性能が確保されている点も魅力だ。早速中身を見ていこう。

TEXT: SHINICHI YAMAZAKI/山崎真一  
PHOTO: MOTOSUKE FUJII(SALUTE)/藤井元輔(サルデー)  
COOPERATION: BRIDE/ブリッド

## クラシックカーのためのローバックシート レースやラリーに参戦する実力派!

日本生まれ、日本育ちのシート専門メーカー「ブリッド」の商品は「おもてなし」の心であふれている。フルバケット式とリクライニング式の基本2アイテム、幅広い価格設定は言うに及ばず、体形の大小、ドライバーの姿勢、車種カテゴリーに最適な設計、そして、細部の作り込みやオプションに至るまで、カタログを見るとさまざまなユーザーにフィットするように、細かく対応しているのが分かる。

旧車に対しても明確に「専用です」と打ち出しており、メーカーとして真剣に向き合ってくれているのはオーナー、ファンとして好感度は高い。

現在、ブリッドが「クラシックシリーズ」としてラインアップする旧車用シートは「ヒストリックス」と「ユーロスターⅡスポーツ」の2種類。

基本デザインはともにローバックスタイルで、前者はフルバケットシートのジータⅢをベースにモータースポーツにも使える性能と旧車に似合うデザイン性を盛り込んだハイエンドモデル。製作は熟練職人の手作業で、表皮も質感が高く、雰囲気合う素材を選ぶなど手間暇がかかっている。

後者はスポーツ性に加えて、乗降性や快適性を加味。ソフィステイケートされたフォルムはクラシックカーからネオヒストリックカーまでをターゲットとするラグジュアリー仕様。表皮にプロテインレザーを使用するなど、最新モデルの要素を加えているのも特徴だ。

ダットサンバケットシートなどのリプロ品や当時物シートの表皮張り替えもよいが、旧車にマッチするデザインと最新の性能を享受できる「クラシックシリーズ」も選択肢に加えてはいいだろうか。満足度は高いはずだ。

NEW

内蔵ウレタンの塊から形を  
カットするスラブから、形状  
に合わせて成形するモール  
ドへの変更で、ヘタリにくく、  
乗り味のよいシートを実現。

BRIDE

Low  
MAX

## STRADIAⅢ

ユーザーニーズを可能な限り満たす  
マルチパフォーマンスなスーパーシート

16年ぶりのフルモデルチェンジでⅢへと進化した、リクライニングするバケットシート「ストラディア」。多様性を求められるシートゆえに、先代モデルで指摘された点をすべて解消すべく、骨格から見直した。シェルは3D-CADで強度、縦／横／ねじれ剛性をシミュレーション。必要なところを足して、不要な部分は削ぎ落とすことで強度／剛性と軽量化の相反する性能を両立。さらに今回は快適性向上にも踏み込むなど、大幅にパフォーマンスを向上させた。



写真はFRP製(20万3500円～)だが、アラミド製  
シェル(25万8500円～)も選べる。座面下に穴  
を追加し6点式シートベルト装着に対応する。  
※2021年7月1日より価格改定。



①②リクライニング機構をレ  
バー式に変更。さらにレバー  
を小型化し、台座に3点式  
シートベルトのバックル用取  
り付け穴(レバー前方のマ  
ルいポッチ)を設定。これに  
より、ボディ形状の関係で  
バックルが付けられなかった  
車種への装着が可能に。



①



③④HANSを適切に装着することの義務化が進むモータースポーツの規則に対応するため、シート上のホールを大型化して小柄な人でもHANSを装着できるように改良(XERO以降に登場したシートはすべて)。また、腿のクッション部はスタンダードの他にロー(低い)タイプも用意され、カラーもブラック/レッド/グラデーションロゴの3種類あり、それぞれ組み換えも可能。追加で選べばマルチなコーディネートも楽しめる。

最新・注目パーツを厳選!!

Nostalgic SPEED  
Parts Selection

Company Information

BRIDE



大田直彦さん

旧車用も標準品も根底にあるのは「運  
転する楽しさの追求」です。機能だけで  
なくルックスも含めてこだわりを詰め込  
んでいます。ぜひ、体感してください。